資　料

ノロウイルスによる感染性胃腸炎について

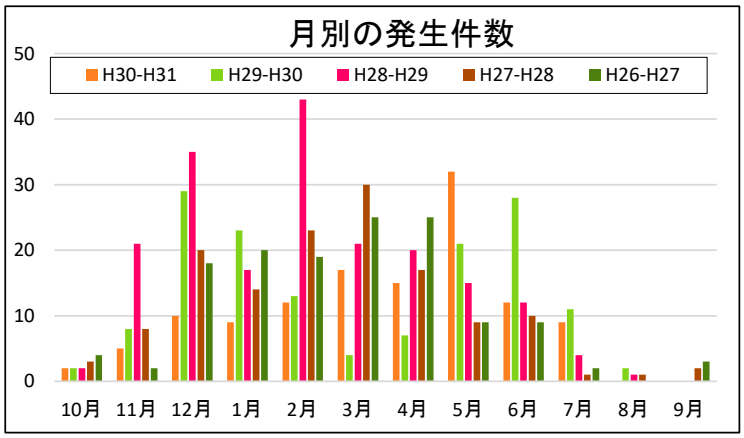
○　ノロウイルスとは

　世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。
ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、道では11月頃から、患者報告数が増加する。

・主症状　：　吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱（軽度）
・潜伏期間　：　24～48時間
・経過と予後　：　通常3日以内で回復、予後は良好

○　道立保健所管内におけるノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団感染事例

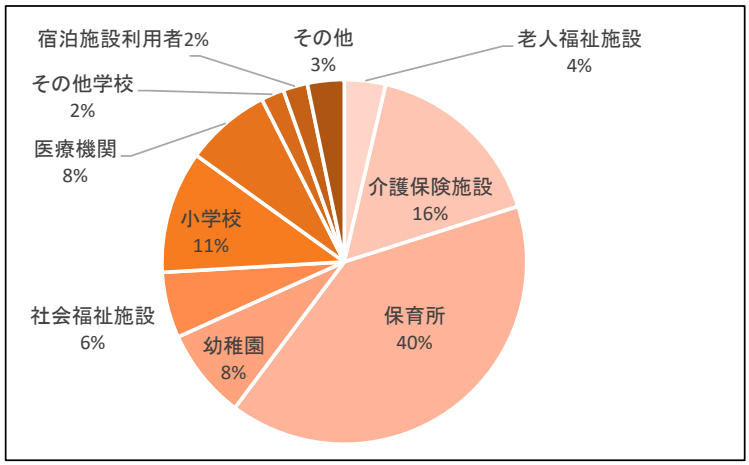
① 過去のノロウイルス集団感染事例の月別発生件数



月／年	H26-H27	H27-H28	H28-H29	H29-H30	H30-H31	5カ年計
10月	4	3	2	2	2	13
11月	2	8	21	8	5	44
12月	18	20	35	29	10	112
1月	20	14	17	23	9	83
2月	19	23	43	13	12	110
3月	25	30	21	4	17	97
4月	25	17	20	7	15	84
5月	9	9	15	21	32	86
6月	9	10	12	28	12	71
7月	2	1	4	11	9	27
8月	0	1	1	2	0	4
9月	3	2	0	0	0	5
年計	136	138	191	148	123	736

※ 集団感染事例：施設において、1週間以内に概ね10人以上の患者発生

② 過去5年のノロウイルス集団感染事例の施設別発生件数



施設／年	H26	H27	H28	H29	H30	5カ年計
老人福祉施設	8	5	7	3	4	27
介護保険施設	34	31	25	17	14	121
保育所	38	40	77	69	72	296
幼稚園	9	11	10	26	3	59
社会福祉施設	8	9	8	11	7	43
小学校	17	16	10	27	10	80
医療機関	9	18	15	7	7	56
その他学校	2	2	3	6	2	15
宿泊施設利用者	1	6	2	3	4	16
その他	7	5	6	3	3	24

※1～12月の集計

○　予防対策について

・トイレ後や食事前、調理時の手洗いを徹底する。
・患者が発生した場合には、便や吐しゃ物を適切に処理し、二次感染を防止する。
・塩素系の消毒薬を使用する。（ノロウイルスはアルコールに抵抗性がある。）

担当（連絡先）	保健福祉部健康安全局地域保健課　感染症・特定疾患グループ 電　話　（代　表）　011－231－4111（内線25－518、519）